

TOEFL Junior®を受験している高校生対象

『大学入学共通テスト の出題内容の変化と TOEFL Junior®の受験価値』

明星大学教育学部教育学科(英語コース)准教授

元京都教育大学附属高等学校 進路指導主任・英語科主任

株式会社ダンケゼアアドバイザー

佐古 孝義

1. はじめに～近年の大学入学共通テストの傾向と特徴～・・・ p.1
2. リスニングセクションの特徴とTOEFL Junior®の親和性・・・ p.1
3. 文法・語彙セクションの特徴とTOEFL Junior®の親和性・・・ p.6
4. リーディングセクションの特徴とTOEFL Junior®の親和性・・・ p.11
5. TOEFL Junior®の3つの受験価値・・・・・・・・・・・・・・・・ p.18



1. はじめに～近年の大学入学共通テストの傾向と特徴～

この小冊子を読んでいる皆さんは、最新の大学入学共通テスト（以下、「共通テスト」と略記）の問題にもう取り組まれたでしょうか。近年の共通テストの最大の特徴は、単に英文を読んで解答するだけでなく、**実用的・文脈重視**の思想のもと、**複数の情報源から必要な情報を取捨選択し、比較・統合した上で、思考・判断・表現する**という、より高次の認知能力を求める問題が増加している点にあります。

リーディングでは、文法や発音の単独問題が廃止され、すべての大問が読解問題となりました。2025年度では大問数が6問から8問へと増加した一方、総語数は約4,200語と前年より約700語減少しました。しかし、これは決して易化を意味するものではありません。むしろ語数が減った分、**一つの文章に対するより深い理解、すなわち精読力**が要求されるようになったとも言えます。近年は文章の推敲（編集）をさせる問題も導入されており、単なる内容理解に留まらない力が試されています。言い換えれば、共通テストは、かつてのセンター試験以上に、

そして共通テスト同士で比較しても、回を重ねるごとにますます、**問題文を「隅々まで」読まないといけない**ような作りになってきていると私は見ています（リーディング力を測るテストなんだから、当たり前といえば当たり前なんですけど）。

一方リスニングに関しても、第1・2問を除き**音声は1回読み**である点は変わらず、高い集中力が求められます。音声にはアメリカ英語だけでなく、イギリス英語や非ネイティブ話者の英語が含まれることもあり、多様な英語への対応力が不可欠です。講義や議論を聞いて、問題冊子に提示された図表やワークシートの情報とリアルタイムで統合処理する、高度な情報処理能力が問われ続けています。

限られた時間内に、これほど大量かつ複雑な英語の情報を処理し、正確に解答を導き出す力をどうやってつけてゆけばよいのか。この小論では、その対策の鍵をTOEFL Junior®の利用という観点から、最新の共通テスト問題を分析しつつ説明してみたいと思います。

2. リスニングセクションの特徴とTOEFL Junior®の親和性

リスニングにおいても、TOEFL Junior®との親和性は非常に高いと言えます。特に、まとまった内容の講義や会話を聞き、その

要点や話の展開を、提示された視覚情報と結びつけながら把握する形式は共通しています。

▶ Listening Comprehension リスニング

リスニングセクションは、社会的、対人的、指示的、そしてアカデミックな目的におけるリスニング能力を測定します。このセクションには次の3種類のタスクがあります。

- ◆ 校内の指示
- ◆ 短い会話
- ◆ アカデミックなリスニング

これらのタスクには、以下の複数の設問タイプがあります。

Main Idea (要旨)：トピックや要旨を特定する

Detail (詳細な情報)：重要な詳細情報を特定する

Speaker's Purpose (話し手の目的)：話し手がなぜその発言をしているのか特定する

Rhetorical Device (間接的な表現)：話し手がなぜ、比較したり例を挙げたりという間接的な表現を使うのか識別する

Pragmatic Meaning (実際の意図)：強調やイントネーションが、話し手の意図をどのように伝えるのか識別する

Inference (推測)：話し手によってはっきりと述べられていない情報に基づいて推測する

Prediction (予想)：述べられていることに基づいて、話し手がどのような行動をとるのか予測する



(TOEFL Junior®テスト公式問題集 [改訂版] p.12)

【2025年の問題から】 共通テスト リスニング 第5問

この第5問では、「リギフト（もらった贈り物を別の人に贈ること）」に関するミニ講義を聞き、ワークシートの空欄を埋めたり、話者の意見が講義内容と一致するかを判断したりします。例えば、講義では「リギフトをする人自身が罪悪感を感じている」と述べられており、これを基にワークシートの空欄28（Regiftersの感情）を"worried"と判断する力が求められます。

この設問は、断片的な単語を拾うだけでは対応できません。**講義全体の文脈を理解し、聞き取った情報と視覚情報を統合して、論理的な関係を見抜く力**が問われています。

TOEFL Junior®のリスニングセクションは、アカデミックな場面設定の問題を豊富

に含んでおり、以下のような点で共通テスト対策として極めて有効です。

- 出題形式の類似性：まとまった量の英文を聞き、その目的や要点、詳細情報を問う問題形式は、共通テスト第5問のような講義問題への備えとして最適です。
- 自然な音声スピードと多様なアクセント：TOEFL Junior®の読み上げ速度はネイティブの自然な速度に設定されており、様々な国のアクセントに触れることができます。これは、共通テストの音声「速い」と感じる生徒や、多様な話者への対応力を高めたい生徒にとって格好の練習素材となります。

講義形式の出題の例を見てみましょう。

35～38

Track 46

🔊 Listening Script

Narrator: Questions 35 through 38. Listen to a teacher talking in a science class.

Woman: You might be used to hearing about the atmosphere of Earth, but the Sun has an atmosphere, too—like Earth, the Sun is covered in gases. And the part of the Sun's atmosphere that's farthest from the Sun's surface is called the corona. The corona has some qualities that have interested and puzzled astronomers for a long time.

For one thing, the corona is incredibly hot—hundreds of times hotter than the surface of the Sun. Why does this puzzle astronomers? Well, remember, the corona is the part of the atmosphere that's the farthest from the Sun's surface. Think about it... if you were sitting near a fire in a fireplace, you would feel warm—maybe even hot, right? Now, imagine if you moved away from the fire—you'd expect to feel cooler. So why is the corona—the outermost layer of the Sun's atmosphere—actually hotter than the Sun's surface, not cooler?

Here's one idea scientists have: a space mission discovered that bundles of extremely hot material—what they call "heat bombs"—move out from the Sun to the corona. When the heat bombs reach the corona, they explode and release heat. This idea is just one possible reason why the corona's so hot—scientists aren't certain whether there are other possible explanations.

There's something else scientists wonder about the corona. Think about that fireplace again. When a fire gets bigger, it gets hotter—and brighter, too... if there's more fire, there's more light. But despite the corona's high temperature, it's not as bright as scientists would think. It's pretty dim—even dimmer than the Moon. The corona is hard to see because it's so dim compared to the Sun's surface.

ナレーター: 問題 35～38。理科の授業での先生の話聞いてください。

女性: みなさんは地球の大気について聞き慣れているかもしれませんが、太陽にも大気があって、地球と同じように太陽は気体でおおわれています。そして、太陽の表面から最も遠い大気の部分は、コロナと呼ばれています。コロナには、長い間天文学者の興味をひき、困惑させてきた性質があります。

1 つに、コロナは非常に熱い—太陽の表面より数百倍も熱いのです。なぜこのことが天文学者を困惑させるのでしょうか？ えー、コロナは太陽の表面から最も遠い大気の部分ですよ。考えてみてください…もしあなたが暖炉の火のそばに座っていれば、温かく感じるでしょう。おそらく、熱いとさえ感じますよね。そして、あなたが火から離れたと想像してみてください。より涼しく感じるでしょう。では、太陽の大気の最も外部の層であるコロナがなぜ、実際には太陽の表面よりも涼しくはなく熱いのでしょうか？

ここに科学者のある考えがあります。ある宇宙探査ミッションが、きわめて熱い物質のかたまり—彼らが「熱爆弾」と呼ぶもの—が太陽からコロナへと移動することを発見しました。熱爆弾はコロナに到達すると、爆発して熱を放出します。この考えはコロナが非常に熱い可能性のある 1 つの理由にすぎず、科学者は他にも考えられる説明があるかどうか定かではありません。

コロナについて、科学者が不思議に思っていることが他にもあります。再び、暖炉について考えてください。火がより大きくなるとより熱くなって、そしてより明るくもなります…もしより多くの火があれば、光がより多くなります。しかし、高温にもかかわらず、コロナは科学者が考えているほど明るくないのです。かなり薄暗い—月よりもずっと薄暗いのです。コロナは、太陽の表面と比べてとても薄暗いので、見るのが困難です。

Scientists think this is probably because the corona isn't very dense—that means its gas particles are spread out. Because the particles aren't close together, the corona doesn't give off a lot of light. This can make it hard to observe the corona without special equipment. We can see it best during an eclipse, when the Moon comes between Earth and the Sun. During a total eclipse, the Moon blocks the Sun from our view—only the corona is visible, around the Sun's edges. At that time astronomers can easily observe the corona. It's clear that sometimes it bulges out in certain spots, then gets smaller. Sometimes it flares way out far into the solar system. Scientists continue to study the Sun's corona and hope to find answers to some of their questions.

Narrator: Now answer the questions.

Narrator: Number 35. What is the teacher mainly talking about?

Narrator: Number 36. Why does the teacher first talk about a fire in a fireplace?

Narrator: Number 37. Why is the Sun's corona dim?

Narrator: Number 38. Why is the corona easy to see during an eclipse?

科学者は、これはおそらくコロナの密度があまり高くない—つまり、そのガス粒子が広がっているからだと考えています。粒子が密集していないので、コロナは多くの光を発していません。

これにより特別な装置なしでコロナを観測することが難しくなっています。私たちが最もよく見ることができるのは、日食、つまり月が地球と太陽の間に来るときです。皆既日食のとき、月が私たちの視界から太陽をさえぎり、太陽の縁にあるコロナだけが見えるのです。そのとき、天文学者は簡単にコロナを観測することができます。時にそれはいくつかの場所でふくらみ、その後より小さくなることは明らかです。時にそれは太陽系のはるかかなたにまで燃え上がることもあります。科学者は太陽のコロナを研究し続けており、いくつかの疑問に答えが見つかることを期待しています。

ナレーター: それでは、問題に答えてください。

ナレーター: 35 番。先生は主に何について話していますか？

ナレーター: 36 番。先生はなぜ、最初に暖炉の火について話しているのですか？

ナレーター: 37 番。太陽のコロナはなぜ、薄暗いのですか？

ナレーター: 38 番。コロナはなぜ、日食のときに見るのが簡単なのですか？

35. 先生は主に何について話していますか？

- (A) 太陽に関する新しい発見
- (B) 太陽の明るさの変化
- (C) 太陽を研究するために使われる装置
- (D) 太陽の大気の一部

36. 先生はなぜ、最初に暖炉の火について話しているのですか？

- (A) 太陽がどのようにエネルギーを生み出すかを例で説明するため
- (B) 太陽を他の星と比較するため
- (C) コロナの色を述べるため
- (D) コロナの温度を論じるため

37. 太陽のコロナはなぜ、薄暗いのですか？

- (A) 粒子が広がっている。
- (B) 部分的に液体である。
- (C) あまり熱くない。
- (D) あまりエネルギーがない。

38. コロナはなぜ、日食のときに見るのが簡単なのですか？

- (A) 太陽がより大きく見える。
- (B) 月が太陽の光をさえぎる。
- (C) コロナが変色する。
- (D) 地球が太陽により近づく。

解説

35. 要旨をつかむ問題です。正解は (D) 太陽の大気の一部、です。話の最初で先生は、コロナは太陽の大気の一部だと言っています。そして、話全体が太陽のコロナについてで、それはなぜ熱いか、なぜとても薄暗いか、科学者はどのように、そしていつ、それを観測して研究するかを述べています。先生は、太陽のコロナが新しい発見だとは少しも示していません。代わりに、先生は「コロナには、長い間天文学者の興味をひき、困惑させてきた性質があります」と言っています。これは、科学者がとても長い間コロナの存在について知っていることを示唆しています。よって、選択肢 (A) はあてはまりません。先生はコロナの明るさについて述べ、コロナの明るさと太陽の表面近くの明るさを比較していますが、太陽の明るさの変化については述べていないので、選択肢 (B) は誤りです。また、科学者がコロナを観測するのに特別な装置が必要だと述べていますが、これは先生が主に話していることではないので、選択肢 (C) は誤りです。

36. 間接的な表現の目的をつかむ問題です。正解は (D) コロナの温度を論じるため、です。先生は、暖炉の火の例と比較することで、科学者がなぜコロナの高い温度について困惑しているかを説明しようとしています。コロナは太陽の表面から最も遠い部分なので、暖炉からより離れたところに座るとより涼しく感じるのとまったく同じように、人々はコロナが太陽の表面ほど熱くないと考えています。先生は、太陽がどのようにエネルギーを生み出すか述べていないので、選択肢 (A) はあてはまりません。また、他の星についても述べておらず、太陽と他の星も比較していないので、選択肢 (B) は誤りです。先生は、コロナの色も述べていないので、選択肢 (C) は誤りです。

37. 詳細な情報を特定する問題です。正解は (A) 粒子が広がっている、です。先生は太陽のコロナがなぜ薄暗いかを説明するとき、「粒子が密集していないので、コロナは多くの光を発していません」と言っています。先生は、コロナが固体なのか液体なのかについて述べていないので、選択肢 (B) はあてはまりません。先生は「コロナは非常に熱い」と言う前から、コロナがなぜとても熱いかを説明しているので、選択肢 (C) は誤りです。先生は、コロナがエネルギーを含んでいるかどうか述べていないので、選択肢 (D) は誤りです。

38. 詳細な情報を特定する問題です。正解は (B) 月が太陽の光をさえぎる、です。話の終わりごろに、先生が、科学者がどのように太陽のコロナを観測するかを説明する際、日食のときに月が私たちの視界から太陽をさえぎり、コロナだけが太陽の縁に見えるので、科学者が太陽のコロナを簡単に観測できると言っています。先生は、いつ太陽がより大きく見えるか言っていないので、選択肢 (A) はあてはまりません。コロナの色については述べていないので、選択肢 (C) は誤りです。先生は、地球が太陽により近づく」と述べていないので、選択肢 (D) は誤りです。

リスニングでも、リーディングと同様に、要旨を掴む問題（35）、間接的な表現の目的を掴む問題（36）、詳細な情報を特定する問題（37、38）、とバランスよく受験

者の実力を測る問題が設定されています。まさに、共通テストと同じく講義全体の文脈を理解し、聞き取った情報を整理する能力が問われているのです。

3. 文法・語彙セクションとTOEFL Junior®の親和性

共通テストのリーディングでは直接的な文法問題は出題されませんが、文法・語彙の知識は、読解やリスニングの土台として、

聞き取りや読みの成否を分ける重要な要素となっています。

【2025年の問題から】 共通テスト リスニング 第6問A（一部抜粋）

Dan: Oh, that's good to know. I eat really fast so I tend to eat too much. From now on, I'll chew more, eat less, and then I'll feel healthier….

問35 What does Dan decide to do by the end of the conversation?

- ① **Adopt different eating habits**
- ② Eat more food in less time
- ③ Increase his bite size
- ④ Make better food choices

この問題では、Danの最後のセリフを聞き、「もっと咀嚼し、食べる量を減らす」という具体的な内容から、それが「食習慣を変えること」を意味すると判断し、選択肢① "Adopt different eating habits" を選ぶ必要があります。このように、聞き取った具体的な内容を、より抽象的な語彙で言い換え（パラフレーズ）を行った選択肢を選ぶ力が求められており、語彙力と文法知識に基づいた正確な理解が不可欠です。

TOEFL Junior®には独立した文法・語彙セクションがあり、単独の文法問題ではなく、文章の流れの中で適切な語彙や語法を選ぶ形式です。ここで養われる「文脈の中で生きた英語のルールを理解する力」は、共通テストの読解・聴解における正確性を支える、まさに縁の下の力持ちと言えるでしょう。

▶ Language Form and Meaning 文法・語彙

文法・語彙セクションは、英語構造の理解と語彙の知識、その理解の深さを測定します。問題は一連の短い文章内にあり、センテンスを完成させるための正しい単語やフレーズを選択することが求められます。各文章は次の種類に分類することができます。

- ◆ Eメールや告知
- ◆ 教科書の記事

文法・語彙セクションには、2種類の異なる問題が含まれます。

- ◆ 文法問題：文法構造の知識（例えば、動詞の時制、関係詞節、語順、形容詞や副詞の形など）を測定します。
- ◆ 語彙問題：語彙の知識を測定します。



(TOEFL Junior®テスト公式問題集 [改訂版] pp.12-13)

例えば「語彙」という面に着目すると、共通テストの出題範囲であるCEFR B2程度までの語彙が確実に自分のものとなっているかの確認材料としてTOEFL Junior®の文法・語彙セクションが使えます。例えば、今回の共通テストリーディングでは第6問BでCEFR B2レベル（あるいはそれ以上）の語彙（例えばsoak, nourish, withstandといった語）が解答に絡んで登場してしまし

たが、このレベルの語彙がしっかりと定着しているかどうかは、次ページのようなTOEFL Junior®の問題で自己確認できるでしょう。

選択肢はいずれも、CEFR B1~B2（派生形を含む）の語彙（CEFR-J Wordlist ver1.6による（注1））であり、大学入試の基礎的な語彙力の定着度を測るのに非常に適した問題だということは一目瞭然です。

Questions 27–34 refer to the following passage from a history book.

We do not know exactly when or how people first built ships. However,

27. (A) that we imagine
(B) we imagine what
(C) it is easy to imagine
(D) to imagine it is easy

that people long ago may have tried using floating objects, such

as pieces of wood,

28. (A) things transport
(B) to transport things
(C) things are transported
(D) transportation of things

over water. They may then have realized

that by tying many floating objects together, even heavier items

29. (A) to
(B) are
(C) will
(D) could

be carried

across water. Most probably, people at first built very simple boats

30. (A) that made pieces of wood
(B) pieces of wood to be made
(C) and pieces of wood were made
(D) that were made of pieces of wood

that were tied together.

31. (A) Each
(B) Such
(C) Either
(D) Another

boats were

probably moved by people sitting on them and paddling with their hands. The next step may have

been 32. (A) flat objects using
(B) flat objects to use
(C) to use flat objects
(D) it used flat objects to row the boat. As we know, the use of sails eventually

would allow boats to be moved by wind power. 33. (A) The early boats pictured
(B) Picturing the early boats
(C) They pictured the early boats
(D) The early boats were pictured on

ancient objects such as vases or wall paintings were thus not the result of a single invention.

Rather, they were created gradually through a process in which each step represented

34. (A) an improvement
(B) an institution
(C) a production
(D) a creation over the previous attempt.

(TOEFL Junior®テスト公式問題集 [改訂版] 解答・解説 pp. 41-42)

27～34

問題27～34は以下の歴史の本からの文章に関するものです。

私たちは、正確にいつ、どのようにして、人々が最初に船を作ったのか知りません。しかし、ずっと昔の人々が、水上で **28. 物を輸送するために**、木片のような浮かぶ物体を使うことを試みたかもしれないと **27. 想像するのは簡単です**。それから、彼らは、多くの浮かぶ物体を結びつけることによって、はるかに重いものを水上で運ぶことが **29. できる** ことに気づいたかもしれません。おそらく、人々は最初に、結びつけた **30. 木片でできた** 非常に簡素なボートを作ったのでしょう。 **31. そのような** ボートはおそらく、その上に座って手でこいでいる人々によって動かされたでしょう。次の段階は、ボートをこぐために **32. 平らな物体を使うこと** だったかもしれません。私たちが知っているように、帆を使うことで、ついに風力でボートを動かせるようになったのでしょう。つばや壁画のような古代の物体に **33. 描かれた初期のボート** は、このように単一の発明の結果ではなかったのです。もっと正確に言えば、それらは、それぞれの段階が前の試みからの **34. 改善** を表す過程を経て作られました。

解説

27. 文法問題です。正解は (C) **it is easy to imagine** です。この問題では、後に続く接続詞「that」で始まる従属節に合う主語と述語の組み合わせを選ばなければなりません。選択肢 (A) と (D) では、不完全なセンテンスになってしまいます。選択肢 (B) は、「what」を含んでいるので、あとの that 節とつながりません。

28. 文法問題です。正解は (B) **to transport things** です。この問題では、using floating objects（浮かぶ物を使うこと）の目的を説明する正しい副詞句を選びます。目的を問う質問に対する答えは不定詞で始まることがあります。ここでは、「to transport」が正しい不定詞です。選択肢 (A)、(C)、(D) は、このセンテンスに副詞句として文法的に適合せず、意味もつながりません。

29. 語彙問題です。正解は (D) **could** です。助動詞「could」は可能を伝えます。このセンテンスは、人々 (they) が気づいたかもしれないことは、より重いものが「be carried across the water（水上で運ばれる）」ことが可能だ、ということだと述べています。選択肢 (A) は that 節の動詞にならず、(B) はあとの be と重複し、(C) は誤った時制なので、このセンテンスで正しい意味を伝えていません。

30. 文法問題です。正解は (D) **that were made of pieces of wood** です。この問題は very simple boats を説明する関係詞節を選ばなければなりません。選択肢 (A) と (D) だけが関係代名詞を含んでいます。選択肢 (B) と (C) は関係代名詞を含んでいないので、正解になりえません。選択肢 (A) は、関係代名詞「that」を含みますが、節はセンテンスの意味を成すものにする正しい動詞形を含んでいません。

31. 語彙問題です。正解は (B) **Such** です。この問題では、センテンスの意味が通るものにする正しい形容詞を選ぶことが求められています。主語 boats は、これより前のセンテンスで述べられているボートを指すと考えられるので、such（そのような）が適切です。選択肢 (A)、(C)、(D) は、単数名詞を指すので、boats にはつながりません。

32. 文法問題です。正解は (C) **to use flat objects** です。このセンテンスを文法的に完成させるには、名詞句、不定詞または動名詞が必要です。選択肢 (D) は、不定詞を含んでいないので、正解になりえません。選択肢 (A) は、動名詞「using」を含んでいますが、それが動詞のすぐ後ろにきていません。選択肢 (B) は、不定詞「to use」を含んでいますが、それもまた動詞のすぐ後ろにきていません。

33. 文法問題です。正解は (A) **The early boats pictured** です。この問題では、問題の対象となっている部分が、センテンスの主語である長い名詞句の一部だということを認識しなければなりません。選択肢 (B) は、動名詞句で単数扱いするので、文の動詞 were に合いません。選択肢 (C) と (D) は、完全な形の文で名詞節を導く接続詞がないので不適切です。

34. 語彙問題です。正解は (A) **an improvement** です。この問題では、文脈が通る名詞を選ぶことが求められています。正解の「an improvement」は、何かをよりよくする行動を意味し、造船の各段階で行われることとして適切です。選択肢 (B)、(C)、(D) は、その意味を伝えていません。

2. リーディングセクションの特徴とTOEFL Junior®の親和性

近年の共通テストのリーディング問題、特に複数の意見や資料を統合して考察するような複雑な問題は、小手先のテクニックだけでは太刀打ちできません。

求められているのは、「書き手（話し手）の目的や意図を文脈から理解・推測する」、骨太の読解力です。

【2025年の問題から】 共通テスト リーディング 第8問

この第8問は、宇宙探査に関する5人の異なる意見を読んだ上で、追加資料も参照しながら、自分の立場を決め、エッセイのアウトラインを完成させるという非常に高度な問題です。例えば、問3では「宇宙探査は良い考えではない」という立場を支持する意見としてMeilinとNaomiを選び、その共通の主張として「宇宙探査は人々を多大な危険にさらし、リスクが高すぎる」という点

を指摘させるなど、まさに複数の意見の要点を正確に掴み、それらを比較・統合する力が問われています。

さて、このような力の養成のために、実はTOEFL Junior®は打ってつけの教材だといえます。なぜか？ TOEFL Junior®にはさまざまな文章を使った、以下のいくつかの設問タイプがあるからです。

▶ Reading Comprehension リーディング

リーディングセクションは、中学校・高校の環境で出会うであろうアカデミックとノンアカデミックな英語の文章を読んで、理解する能力を測定するよう作られています。

ーアカデミックな文章の例

- ◆ 物語
- ◆ 重要な歴史的人物に関する伝記的な文章
- ◆ 教科書に出てくるようなアカデミックなトピックに関する文章

ーノンアカデミックな文章の例

- ◆ Eメール、メモ、手紙
- ◆ 予定表やポスター
- ◆ ニュース記事（例えば、校内新聞に出てくるようなもの）



(TOEFL Junior®テスト公式問題集 [改訂版] p.13)

さまざまな文章を使った、以下のいくつかの設問タイプがあります。

Main Idea (要旨)：文章の全体的なテーマや最も重要な考えを理解する

Factual Information and Negative Fact (事実情報と間違っている情報)：文章の要点を裏付けする重要な事実情報を識別する

Inference (推測)：文章ではっきりと述べられていない情報に基づいて推測する

Vocabulary in Context (文脈における語彙)：文脈に基づいて見慣れない単語やフレーズの意味を判断する

Pronoun Referent (代名詞が指す語句)：代名詞の指す語句を特定する

Author's Purpose (書き手の目的)：書き手の意図を特定する

Figurative Language (比喩的表現)：周囲の文脈からイディオムや比喩的表現の意味を特定する

少し実例で確認してみましょう。

2. は、比較的表現の意味を判断する問題で、3. は、文中で与えられている情報に基づいて推測する問題です。また、4. は文脈

から語句の意味を判断する問題になっています。これもまさに、「**筆者の意図を汲んで、問題文には直接ない表現（言い換え）を探り当てる練習**」に好適です。

(TOEFL Junior®テスト公式問題集 [改訂版] pp.35-40)

+ Reading Comprehension Task—Sample 2

Questions 1-9 are about the following passage.

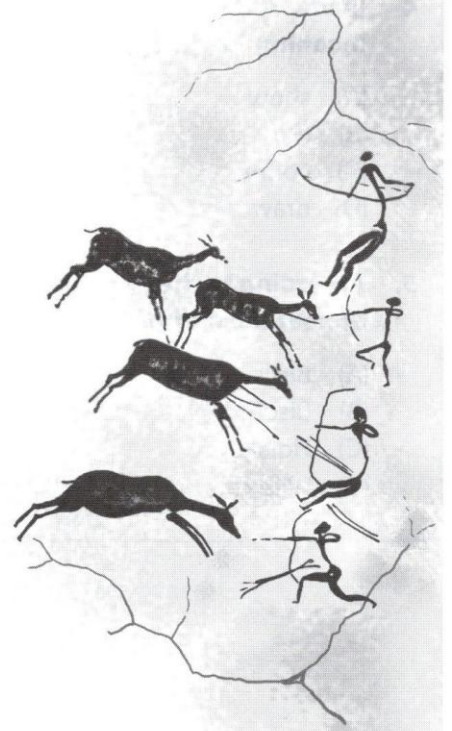
Line When another old cave is discovered in the south of France, it is not usually news.

Rather, it is an ordinary event. Such discoveries are so frequent these days that hardly anybody pays heed to them. However, when the Lascaux cave complex was discovered in 1940,

5 the world was amazed. Painted directly on its walls were hundreds of scenes showing how people lived thousands of years ago. The scenes show people hunting animals, such as bison or wild cats. Other images depict birds and, most noticeably, horses, which appear in more than
10 300 wall images, by far outnumbering all other animals.

Early artists drawing these animals accomplished a monumental and difficult task. They did not limit themselves to the easily accessible walls but carried their painting materials to spaces that required climbing
15 steep walls or crawling into narrow passages in the Lascaux complex.

Unfortunately, the paintings have been exposed to the destructive action of water and temperature changes, which easily wear the images away. Because the Lascaux caves have
20 many entrances, air movement has also damaged the images inside. Although they are not out in the open air, where natural light would have destroyed them long ago, many of the images have deteriorated and are barely recognizable. To prevent further damage, the site was closed to tourists in 1963, 23 years after it was discovered.



1. Which title best summarizes the main idea of the passage?

- (A) Wild Animals in Art
- (B) Hidden Prehistoric Paintings
- (C) Exploring Caves Respectfully
- (D) Determining the Age of French Caves

2. In line 3, the words pays heed to are closest in meaning to _____.

- (A) discovers
- (B) watches
- (C) notices
- (D) buys

3. Based on the passage, what is probably true about the south of France?

- (A) It is home to rare animals.
- (B) It has a large number of caves.
- (C) It is known for horse-racing events.
- (D) It has attracted many famous artists.

4. In line 8, the word depict is closest in meaning to _____.

- (A) show
- (B) hunt
- (C) count
- (D) draw

5. According to the passage, which animals appear most often on the cave walls?

- (A) Birds
- (B) Bison
- (C) Horses
- (D) Wild cats

6. In line 12, the word They refers to _____.

- (A) walls
- (B) artists
- (C) animals
- (D) materials

7. Why was painting inside the Lascaux complex a difficult task?

- (A) It was completely dark inside.
- (B) The caves were full of wild animals.
- (C) Painting materials were hard to find.
- (D) Many painting spaces were difficult to reach.

8. According to the passage, all of the following have caused damage to the paintings EXCEPT _____.

- (A) temperature changes
- (B) air movement
- (C) water
- (D) light

9. What does the passage say happened at the Lascaux caves in 1963?

- (A) Visitors were prohibited from entering.
- (B) A new lighting system was installed.
- (C) Another part was discovered.
- (D) A new entrance was created.

+ Reading Comprehension Task—Sample 2 解答解説

解答

1. (B) 2. (C) 3. (B) 4. (A) 5. (C) 6. (B) 7. (D) 8. (D) 9. (A)

解説

1

要旨をつかむ問題です。これは本文の主なトピックについての問題です。この問題に答える前に文章全体を読むことを勧めます。文章全体を通読することによって、この記事がラスコー洞窟地帯における先史時代の絵画について主に述べていることがわかります。そこには、絵画、その場所、受けた損傷の理由が書かれています。まとめると、選択肢(B)が最も適切で正しい答えだということが推測できます。

2

比喩的表現の意味を判断する問題です。本文の2～3行目に「Such discoveries are so frequent these days that hardly anybody pays heed to them. (そのような発見が最近とても頻発するので、ほとんど誰もそれらに注意を払いません)」とあります。このセンテンスは、発見があまりに頻発するので、みんなが慣れている、またはほとんど注意を払わない、ということを示しています。よって、最も適切な語は「notices (～に注目する)」で、選択肢(C)が正解です。

3

推測する問題です。この問題は文中で与えられている情報に基づいて、フランスの南部について推測するように求めています。選択肢(A)にはフランスの南部が珍しい動物の生息地だと書いてありますが、この記事では述べられていないので、選択肢(A)は除外できます。選択肢(C)は、その場所は競馬のイベントで有名だと書いています。文章の9行目に、洞窟の絵画の中には馬が描かれているとありますが、選択肢(C)はこの情報に基づいた合理的な推測ではありません。選択肢(D)は、フランスの南部が多く有名な芸術家を引きつけてきたと書いてありますが、これもまた記事の中で述べられていないので、除外できます。しかし、本文の2行目は、洞窟がフランスの南部でとてもありふれていると暗に示しています。つまり、とてもありふれているので「hardly anybody pays heed to them (ほとんど誰も注意を払いません)」ということです。よって、選択肢(B)が正解です。

4

文脈から語句の意味を判断する問題です。本文の7～8行目に「The scenes show people hunting animals, such as bison or wild cats. (その場面はバイソンや野生のネコといった動物を狩っている人々を示しています)」とあり、後に続くセンテンス「Other images depict birds and, most noticeably, horses (他の壁画は鳥や、最も顕著に馬を表しています)」で使われている「depict」の意味の手がかりを与えています。つまり、どちらも絵画が表しているものを述べています。よって、選択肢(A)が正解です。

5

事実情報を特定する問題です。本文の7～10行目の記述によると、壁に描かれているシーンは、鳥、バイソン、馬、野生のネコを示しています。しかし、馬が「most noticeably (最も顕著に)」300を超える壁面に登場していて、他のどの動物よりもずっと多い、と述べています。よって、選択肢(C)が正解です。

6

代名詞が指す語句を特定する問題です。代名詞は多くの場合、文章の中で近くにある別の語(句)を指しています。この場合、受験者は前後のセンテンスで「they」が指す名詞を見つけるよう求められています。さらに、「they」は複数形の名詞を指しているので、正しい選択肢を選ぶ際に、複数形の名詞を探さなくてはなりません。前のセンテンスには、「Early artists drawing these animals accomplished a monumental and difficult task. (これらの動物を描いた初期の芸術家たちは非常にスケールが大きく困難な仕事を達成しました)」と書かれています。このセンテンスで2つしかない複数形の名詞は「artists (芸術家)」と「animals (動物)」です。代名詞「they」を含むセンテンスには、「They did not limit themselves to the easily accessible walls but carried their painting materials ... (彼らは近づきやすい壁にとどまらず、画材道具を…運びました)」と書かれています。動物ではなく、芸術家が画材道具を運んでいたというように考えられます。よって、選択肢(B)が正解です。

7

事実情報を特定する問題です。「difficult task (困難な仕事)」という表現が12行目に出ていて、つまりこの部分に正解があるということを意味しています。次のセンテンスは画家がいかにして斜面や狭い通路に画材道具を運んだかを述べています。これがラスコー地帯の中で絵を描くことが困難だった理由です。4つの選択肢の中で、この説明と唯一合致している選択肢(D)が正解です。

8

間違っている事実情報を特定する問題です。「EXCEPT (～を除いて)」という語は、大文字で表記され、受験者に問題文の内容に注意するよう促しています。文章では、絵画に損傷を与えてこなかったのはどれなのかを問われています。18行目によると、水と気温の変化は両方とも損傷を与えてきたので、選択肢(A)と(C)は誤りです。20行目によると、空気の動きもまた壁面に損傷を与えてきたので、選択肢(B)は答えになり得ません。光は21行目で言及されていますが、絵画は「not out in the open air, where natural light would have destroyed them long ago (自然光ならとうの昔に破壊していたであろう屋外にはなかった)」と述べているので、選択肢(D)が正解です。

9

事実情報を特定する問題です。受験者は、「1963 (1963年)」が本文中で情報の位置を示す明確なしるしである、ということに気づかなければなりません。それは23行目に記されています。本文によると、1963年に、壁面へのさらなる損傷を防ぐために、観光客はもはや洞窟の中に入ることが許されなくなりました。このセンテンスの言い換えになっている選択肢(A)が正解です。他の選択肢はすべて本文では述べられていません。

訳

問題1～9は以下の文章に関するものです。

また古い洞窟がフランスの南部で発見されても、それはたいていニュースにはなりません。それどころか、普通の出来事です。そのような発見が最近とても頻発するので、ほとんど誰もそれらに注意を払いません。しかし、1940年にラスコー洞窟地帯が発見されたとき、世界中が驚きました。壁に直接描かれていたのは、人々が何千年も前にどのように暮らしていたかを示している何百もの場面でした。その場面はバイソンや野生のネコといった動物を狩っている人々を示しています。他の壁画は、鳥や、最も顕著に馬を表しています。馬は、他のすべての動物よりずっと多く、300を超える壁画に登場しています。

これらの動物を描いた初期の芸術家たちは非常にスケールが大きく困難な仕事を達成しました。彼らは画材道具を、近づきやすい壁にとどまらず、ラスコー洞窟地帯の険しい壁に登ったり狭い通路をはったりしなければならぬ場所に運びました。

不運にも、絵画は水の破壊作用と気温の変化にさらされてきました。それらは容易に絵を摩滅します。ラスコー洞窟にはたくさんの入り口があるので、空気の動きもまた内部の壁画に損傷を与えてきました。それらは、自然光ならとうの昔に破壊していたであろう屋外にはなかったのですが、壁画の多くは劣化してしまい、かろうじて認識できる状態です。さらなる損傷を防ぐために、その遺跡は発見されてから23年後の1963年に、観光客が立ち入り禁止となりました。

1. この文章の要旨を最もよくまとめている題名はどれですか？

- (A) 芸術における野生動物
- (B) 隠れた先史時代の絵画
- (C) 敬意を持って洞窟を探索すること
- (D) フランスの洞窟の時代を特定すること

2. 3行目のフレーズ pays heed to に最も近い意味の単語は _____。

- (A) discovers (～を発見する)
- (B) watches (～をじっと見る)
- (C) notices (～に注目する)
- (D) buys (～を買う)

3. この文章に基づくと、フランスの南部について正しいと思われることは何ですか？

- (A) 珍しい動物の生息地である。
- (B) 多くの洞窟がある。
- (C) 競馬のイベントで知られている。
- (D) 多くの有名な芸術家を引きつけてきた。

4. 8行目の単語depictに最も近い意味の単語は _____。
- (A) show (…を示す)
 - (B) hunt (…を狩る)
 - (C) count (…を数える)
 - (D) draw (…を描く)
5. この文章によると、洞窟の壁に最も頻繁に現れているのはどの動物ですか？
- (A) 鳥
 - (B) バイソン
 - (C) 馬
 - (D) 野生のネコ
6. 12行目のTheyが指している語は _____。
- (A) walls (壁)
 - (B) artists (芸術家)
 - (C) animals (動物)
 - (D) materials (道具)
7. ラスコー地帯の中で絵を描くことが困難な仕事だったのはなぜですか？
- (A) 中が真っ暗だった。
 - (B) 洞窟は野生動物でいっぱいだった。
 - (C) 画材道具が見つけづらかった。
 - (D) 絵を描く場所の多くはたどり着くのがむずかしかった。
8. この文章によると、絵画に損傷を与えてこなかったのはどれですか？
- (A) 気温の変化
 - (B) 空気の動き
 - (C) 水
 - (D) 光
9. この文章によると、1963年にラスコー洞窟で何が起こりましたか？
- (A) 観光客は中に入ることを禁止された。
 - (B) 新しい照明装置が設置された。
 - (C) 別の部分が発見された。
 - (D) 新しい入口が作られた。

TOEFL Junior®に出てくるようなタイプ別問題に数多く触れ、読み方の精度をあげておくことは、長い目で見たときに、小手先のテクニックなんかよりもはるかに共通テスト対策になると私は確信します。共通テストは、計算問題をはじめ、目先の変わった問題が毎年のように出題され、その度に受験生が右往左往してしまう姿を目にするわけです（正直言って、毎年変化するこうした出題形式を事前に予想して対策することは不可能に近いと言っていいでしょう）。しかし、そうした表面上の変化に惑わされず、どんな出題形式であっても安定して得点できるようになるためには、そもそもの読解の精度を高めることが、最短かつ最適の学習法です。そうした読みができているかどうかの確認として、TOEFL Junior®は非常に良い物差しになると思います。

まとめましょう。TOEFL Junior®を活用することは、大学入学共通テストのリーディング対策

として、以下の点で大きな利点があります。

- 書き手の目的をつかむ問題: 文章全体のテーマや文脈を踏まえ、書き手が何を伝えたいのかを大局的に捉える練習になります。これは、先ほど述べたような「各論者の主張の核心を見抜く力」に直結します。
- 推測する問題: 直接述べられていないが強く暗示されていることを読み解く力は、たとえば、共通テストで登場人物のセリフの意を読み取るような、深い文脈理解を要求する問題で活かされます。
- 語彙レベルへの対応: 近年の共通テストでは、CEFR B2（英検準1級程度）レベルの語彙の割合が増加傾向にあります。難しい単語が出てきても文脈から意味を推測する力が試されますが、この力はTOEFL Junior®の多様なジャンルの英文を読む中で効果的に養うことができます。

5. TOEFL Junior®の3つの受験価値

これまで説明してきたとおり、TOEFL Junior®と最新の共通テストとの親和性は非常に高く、その対策教材としての価値はますます高まっています。

TOEFL Junior®は、英語の熟達度そのものをCEFRという世界基準で測定するテストであると同時に、中高生の生活に基づいた質の高いオーセンティックな素材の宝庫です。公式問題集などを普段の学習に取り入れることで、共通テストで求められる複雑な情報処理能力や深い思考力の土台を築くことができます。これはまさに「一粒で二度美味しい」学習法と言えるでしょう。

さらに、共通テスト対策という視点を超えて、TOEFL Junior®には以下のような具体的な活用価値があります。

1. 客観的な弱点診断と克服: TOEFL Junior®のスコアレポートでは、リスニング、文法・語彙、リーディングの能力が個別に数値化されます。「読解は得意だが、聞き取る力が弱い」といった自分の課題を客観的に把握できるため、共通テスト本番までに何を強化すべきか、具体的な学習戦略を立てやすくなります。

2. 学習モチベーションの向上: CEFRという国際基準で自分の英語力が示されるため、「今の自分はB1レベルだ」というように、世界の中での現在地を知ることができます。これは学習意欲の向上に繋がり、日々の勉強のモチベーションを維持する上で大きな助けとなります。
3. 教育現場での信頼と活用: 近年、

TOEFL Junior®を導入する高校も増えています。例えば、**筑波大学附属坂戸高等学校(注2)**や**天王寺高校(注3)**では、生徒の英語運用能力を詳細に把握し、個々の指導に活かすために本テストを活用しています。これは、TOEFL Junior®が客観的で信頼性の高い指標として、教育現場で評価されていることの証です。

教育・受験 / 高校生

2023.9.22 Fri 14:45 PR

世界の高校生と比較できる「TOEFL Junior」を活用 ～世界基準の英語力を伸ばす筑波大学附属坂戸高等学校の英語教育とは～

埼玉県で初めて、国際バカロレア・ディプロマプログラム（IBDP）認定校となった筑波大学附属坂戸高等学校。2022年度より英語外部検定として「TOEFL Junior」を導入した意図や、その活用方法について聞いた。



(注2)世界の高校生と比較できる
「TOEFL Junior®」を活用
～世界基準の英語力を伸ばす
筑波大学附属坂戸高等学校
の英語教育とは～

(注3)将来につながる英語を学ぶ
天王寺高校
「TOEFL Junior®」
一斉受験の目的と効果

事例 / 活用例

2021.11.22 Mon 10:25 PR

将来につながる英語を学ぶ天王寺高校「TOEFL Junior」一斉受験の目的と効果

「TOEFL Junior」を導入して将来につながる生きた英語を学ぶ大阪府立天王寺高校の英語教育について、吉岡校長先生と英語科の武井先生にインタビューした。



表面的なテクニックに頼るのではなく、
本質的な英語運用能力を身につけること
が、結局は共通テスト攻略の一番の近道
です。ぜひ、英語力を測る「物差し」と

してだけでなく、未来を生きるための思考
力を鍛える「教材」という新たな視点から、
TOEFL Junior®の価値を見直してみること
を強くお勧めします。

参照資料

Global Communication & Testing監修. (2025). 『TOEFL Junior® STANDARDテスト公式問題集』 くもん出版

(注1) CEFR-J Wordlistについては、CEFR-Jのウェブサイト
(<http://www.cefr-j.org/index.html>) からダウンロードできます。



(注2) リセマム. (2023年9月22日). 世界の高校生と比較できる
「TOEFL Junior®」を活用 ～世界基準の英語力を伸ばす
筑波大学附属坂戸高等学校の英語教育とは～.
リセマム. <https://resemom.jp/article/2023/09/22/73913.html>
(2025年6月13日閲覧)



(注3) リシード. (2021年11月22日). 将来につながる英語を学ぶ
天王寺高校「TOEFL Junior®」一斉受験の目的と効果
<https://reseed.resemom.jp/article/2021/11/22/2809.html>
(2025年7月1日閲覧)



著者紹介

佐古 孝義

所 属: 明星大学 教育学部 教育学科 (英語コース) 准教授

学 歴: 京都大学大学院人間・環境学研究科博士課程修了。博士 (人間・環境学)。

経 歴: 主な著書に『コーパス・クラウン総合英語』 (編集委員会代表、三省堂)。

資 格: IELTS Overall 8.0 (スコア取得年月: 2019年7月) 詳細: R8.5/L8.0/W7.0/S7.5。

TOEFL iBT® Best Score 112 (スコア取得年月: 2020年1月) 詳細: R30/L30/W28/S24。

英検1級。

活 動: 教育や英語学習に関するテーマでポッドキャスト「Critical Classroom Chat (C3)」配信中。

https://open.spotify.com/show/4lnfpZ820OyJa19vhyYXvt?si=BdAF94_NQYaNsyS8QkrZ2Q

ポッドキャスト
「Critical Classroom Chat (C3)」



関連著作レポート

□ 『大学入学共通テストの出題内容の変化とTOEFL Junior®の受験価値』



□ 『熟達度測定テストTOEFL Junior®を継続的に受験する意義について』



□ 『熟達度測定テストTOEFL Primary®を継続的に受験する意義について』



MEMO

Danke Sehr